



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市中区和北山町
3-8-6 〒466-0006
電 話 052-732-1226

7月27日 総代会後初の 理事会を開く

梅雨明け直後の7月27日(金)、愛知県板金工業組合は午後1時より常務理事会、そして3時より理事会を開催した。

理事会には理事24名をはじめ、正副理事長、専務理事、常務理事そして相談役と青年部長が出席した。出席者総数は42名、欠席は6名であった。

まず齋藤理事長が「今期の委員会委員がほぼ決まり、新しい体制が整いました。これから其々の担当する事業をしっかりと実行して行つて下さい。また、梅雨があけ酷暑の時期になりました。体調には十分気を付けて仕事をして下さい」と挨拶した。

議事に入り、次の事項が審議または報告された。

① 第19期委員会構成について
資料の「各種委員会等名簿」の

とおり報告された。その中で、前期の技研厨空委員会から分離した厨房空調委員会は、委員長は決定しているが委員については現在人選中である、との説明があった。

この資料は機関紙「愛板」428号に掲載されている。

委員会の議事録を今後はプロック長と理事に送付することが決められた。これにより委員の出欠席と委員会の活動状況が把握され易くなる。

② 各委員会の活動方針について

このことについて各委員長等より発表された。

◆ 総務委員会

総代会、新年懇親会、全板大会を担当する。全板国保、労働保険、県板共済などの厚生事業についても加入促進に努める。また来年度発行予定である組合員名簿の作製

準備も行っていく。

◆ 広報委員会

新任の委員3名が加わったことを機に、より良い記事を書けるように全委員で学び合っていく。

◆ 技研研究委員会

委員長として選任されたばかりであるので、8月2日(木)に開催する委員会にて今年度の方針を決める。

◆ 技能委員会

今年度の技能検定実技試験を7月15日(水)に実施した。「建築板金内外装板金作業」では一級で15名、二級で14名の受験があった。

◆ 経営研究委員会

委員会をまだ開いていないので決まっていないが、ファイナンスチールの普及活動と全板連指定商品は前年度と同様に担当したい。

◆ 保証委員会

窯業系サイディングの再講習を企画している。前もって受講希望の人数を知りたいので、支部宛に案内を送付する。希望者数を調べて報告して頂きたい。

◆ 技能士会

11月17日(土)・18日(日)に技能プラザが開催される。今年もこれに出展参加するので、各支部より世話人さんに出て頂き、お手伝い願いたい。

◆ 青年部

毎年1月に開催する全国技能競技大会愛知予選大会が最大の行事である。11月にその為の講習会を

行う。2年後に県板青年部の創立30周年を迎えるので、今年度より準備委員会を立ち上げる。同じく2年後に「あすなる研究会」が中部ブロックでの開催予定となっている。名古屋が開催地に選ばれば愛知県板金青年部の活性化の為に受け入れたい。

③ 「建専連 専門工事業総合補償制度」保険加入範囲の拡大について

愛知県板では今年4月から「責任施工保証看板店」のみを対象にこの保険について案内をしてきたが、加入範囲拡大の要望も有り、保険会社の「損保ジャパン」に相談したところ、この保険制度には三つのメニューがあり、その内の二つのメニューの加入については「保証看板店」に限定せず、組合員であれば誰でも加入出来るようになった。以上が青島専務理事から

報告された。

続いて来所戴いた損保ジャパンの4名の方より説明があり、質疑もなされた。

損保ジャパン側は説明の最後に次のように述べた。「8月1日より逐次パンフレット等の入った封筒を組合員に郵送します。詳しい説明を希望されるなら、支部単位でもたとえ1事業所でも訪問して説明をします」。

④ 愛知県板金工業組合相談役の委嘱(案)について

「前副理事長の佐藤忠雄氏を相談役に委嘱する」とする(案)が理事長より出され、理事に諮ったところ、異議無く満場一致で承認された。これにより相談役は5名になった。

他団体への役職就任状況も次の様に報告された。



▶ あいさつする齋藤理事長



▲ 理事会風景

(1頁よりつづき)

◎愛知県中小企業団体中央会

副会長 齋藤充昭

平成19年5月18日(金) 中央

会通常総会にて選任される。

(任期2年)

◎全国板金業国民健康保険組合

監事 鈴木準一

平成19年7月20日(金) 第76

回全板国保臨時総会にて選任
される。(任期2年)

⑤その他

今後の予定が報告された。

◆尾張名古屋の職人展

9月28日(金)から30日(日)まで
開催される。名古屋ブロック
が担当で出展し、折り鶴、亀
カエルを実演販売する。◆産業廃棄物マニフェスト制度
等に係る説明会8月30日(木)岡崎会場に西三ブ
ロックの役員3名が出席予定。

◆第60回全板鳥取大会

平成20年5月16日(金)

◆第43回通常総代会

平成20年5月30日(金)

メルパルクにて

◆新年懇親会

平成20年1月13日(日)

名古屋ブロック担当

メルパルクにて

以上で議事を終え、相談役が挨拶
した後、松代副理事長が閉会の
言葉を述べた。

平成19年度

技能検定実技試験実施

愛知県板金工業組合は7月15日

(日)県立名古屋高等技術専門学校(名
古屋市北区)において19年度技能
検定実技試験を実施した。当日、三日程前に発生した台風
の進路が心配されたが、台風の影
響なく午前9時に受付が開始され
た。受験者は受付を済ませると背中
に受験番号を付け、道具を所定の
位置に運び検査を受け試験に挑ん
だ。今年は一級15名、二級14名が
受験した。試験開始前、今井技能委員長
(19年度より委員長に就任)齋藤理
事長、鶴見検定員(県立名古屋高
等技術専門学校講師であり中立の立
場)から挨拶があった。中村検定

▶ あいさつする今井委員長(左)

▶ 実技試験風景
(工場板金曲げ板金作業)▶ 実技試験風景
(内外装板金作業)

もと試験がはじまった。

午前中はうす曇で涼しく感じた
会場も午後には台風一過となり気
温の上昇と受験者の熱気で蒸し暑
く感じた。全員が打ち切り時間内に作品を
提出して実技試験が終了した。翌16日に同会場にて検定員と補
佐員が厳しく採点した。また、会場の別室では工場板金
曲げ板金作業実技試験が行なわれ
一級一名が受験した。

.....

県板青年部役員決定

県板青年部は6月3日(日)、県板
事務所3階会議室において平成19
年度第一回幹事会を行なった。重要議題である役員選出(部長
以外の4役)では、各ブロックか
ら一名が選出されその中から役員
が選出された。

新役員

部長 加茂 重夫(一宮)
 副部長 石川 匡裕(岡崎)
 書記 後藤東洋士(知多)
 会計 早川 隆志(中川港)
 監査 後藤 浩一(東三)
 幹事 土田 幸一(一宮)
 蟹江 康(知多)
 山口 正則(東三)
 毛利 謙一(西尾)
 小倉 賢一(豊田)
 伊藤 彰倫(刈谷)

試験時間は標準時間五時間三十
分、三十分の打ち切り延長時間が
ある。検定員より試験当日発表の数値
が公表された。受験者は標準時間内に作品を提
出して実技試験が終了した。翌日、検定員と補佐員が厳しく
採点した。学科試験は9月5日(水)に実施さ
れる。

宇野(岡崎支部)

幹事 早川清史(碧南)

相談役 酒井克幸(安城)

宇野勝義(岡崎)

議題

一、県板青年部通常総会反省

6月16日(土)・17日(日)

大阪市にて

一、中板協青年部通常総代会

7月8日(日) 名古屋にて

部長・役員七名、

オブザーバー四名出席

一、県板通常総代会報告

一、あすなる研究会

9月9日(日)・10日(月)

山形県にて開催

宇野(岡崎支部)

碧南支部

太子講を開催し

安全のための勉強会も行っ

碧南支部は7月22日(日)、午後1時半より市内の料理旅館「だい忠」にて太子講を開催し、支部組合員29名中22名が出席した。

太子講は愛知県板橋足以前から有った同業者組合の行事を引き継いだもので、年に2回開催している。開催日は曜日に関わらず毎年1月22日と7月22日となっている。内容は太正時代からの亡くなった同職の先輩の追悼法要で、木彫りの聖徳太子像をまつり、現在41名の先輩の氏名と命日を記した掛け軸を掛け、仏僧の読経にておまいりしている。

仏事後、副支部長が司会を務

▶ グループ討議



▶ リーダーがまとめを発表



めて会議を行った。まず、県板の現況報告と建専連補償制度への加入案内、西三板金連合会の事業として9月16日開催予定の救命講習の受講案内があり、次に、今後の太子講の運営方法の変更、又、従来隔年で支部行事として全板大会に参加していたが、これを改め1泊2日の支部単独の旅行に切り替える案について協議された。

その後、安全についての勉強会に移った。これは4月14日に西三板金連合会が「安全講習会」を開催したが碧南支部からは2名しか受講しなかった為、ほとんどの組合員が出席するこの太子講の機会を捉えて行われた。

「リスクアセスメント」について簡単に説明した後、講習会で行われたと同様に小グループに分かれ討議をした。碧南支部においてグループ討議は初体験であり、リーダーがうまくリードして意見を纏められるか心配された。しかし参加者全員がはじめに、しかも真剣に意見を述べ合い、予定の30分を延長しての討議となった。また、リーダーの采配も良く、どのグループもうまく結論を纏め、討議

立浪部屋

ちゃんこ鍋

7月18日(水)夕方6時、津島支部の組合員10人と子供3人で、大相撲名古屋場所所中の立浪部屋(北名古屋市中区師勝町高田寺)を訪れ、ちゃんこを頂いた。

すでに他の来客者で会場は埋め尽くされており賑やかであった。会場内の座敷の円卓に座ると、その中央にガスコンロが置かれその周りには前菜のソーセージやジャコ、それにキャベツの炒め物などが置かれていた。缶ビールやペットボトルのウーロン茶の飲み物が配られ、しばらくしてちゃんこ鍋が運ばれてきた。各自が目の前に

▶ 立浪親方(後列右から4人目)、猛虎浪関(後列左から3人目)と記念撮影



後全員の前で発表出来た。

最後に西三板金連合会で決まっ今年度の安全スローガン「急ぐとも安全確認最優先」を全員で唱和し勉強会を締めくくった。

その後、部屋を移し懇親会となった。まだ午後4時前で外は真夏の太陽が輝いている。そんな折クーラーの利いた部屋で冷えたビールが飲める幸せ。これぞ太子講有つてのモノである。

高橋(碧南支部)

置かれたどんぶりに取り、熱々のちゃんこを頂いた。どんぶりが大きいので、2杯も食べるともう腹いっぱいであった。最後にちゃんこ鍋の中にラーメンの麺を入れて

食べたのだが、これがまたおいしかった。また親方をはじめ若い力士ばかりなので、各テーブルを回って一緒に写真を撮ったりと、サービスピリット旺盛で子供たちも大変喜んでた。

この立浪部屋には、まだそれほど有名な力士はいない。十両のモンゴル出身の猛虎浪が最上位になる。またこの日は、立浪部屋のすべての力士が白星で親方も上機嫌であったことだろう。

立浪親方は元小結の旭豊で、愛知県春日井市出身の38歳、現役の頃は松平健に似た甘いマスクで「角界の暴れん坊將軍」と言われていたようだ。平成11年に引退、その後立浪部屋を継承。現在は若手育成に励んでいる。

約1時間ほどであったが、腹いっぱい食べて楽しいひと時を過ごせた。

猪飼(津島支部)



▲ アツアツのちゃんこ鍋を突く参加者

豊田支部 青年部 親睦バーベキュー大会

豊田支部青年部は夏の恒例行事となった親睦バーベキュー大会を7月29日(日)午前11時より、刈谷市井ヶ谷町の小林農園にて行いました。

青年部長の小倉賢一氏の開会の挨拶に続き、来賓として来ていただいた支部長の福田益雄氏による乾杯の音頭でジョッキのビールをゴクリ。30度を超える晴天に恵まれた真夏の昼間から飲むビールは格別においしかった。

同業者でありながら普段なかなか家族間での交流がない板金業界において夏のバーベキュー大会は家族どうし、日頃僕らを支えてくれている奥さんどうしの交流と親睦に最適な行事である。青年部の行事だけに会員の子供さん達は、幼児から小・中学生ばかり。中には「結婚しました。」とお嫁さんを連れて参加の人や、「子供産まれたんです。」と赤ちゃんを連れて参加する人など、会員のプライベートを知る格好のイベントである。

今年は7家族25人が参加し、バーベキューを楽しんだ。途中、溪流に見立てた川に鮎が放流され子供達の鮎のつかみ取りが始まった。水着を着た子供達は一斉に川に入り、大ハシャギで鮎を追いかけて



いた。取った鮎はすぐに農園のおじさんが串焼きにしてくれ、みんなのお腹に収まった。最後には全員参加のビンゴ大会が行われ「リーチ」「ビンゴー」と声を上げて、みんなお菓子やおもちゃを手に満足な表情だった。

小倉青年部長の開会の挨拶によつて平成19年度のバーベキュー大会は終了した。

この日は、豊田おいでんまつり花火大会ということもあり、夜は花火を見に行くという家族がほとんどでした。1日を通して楽しい思い出が残せたバーベキュー大会になったと思う。また来年もより多くの家族が参加して、同じ気持ちを感じてもらえたら最高だと思う。

赤池(豊田支部)

尾張板金連合会

ゴルフコンペ

7月6日(金)、名四カントリークラブにて尾張板金連合会のゴルフコンペが開催された。

天気にも恵まれ、総勢11名が参加して楽しくプレーできた。

その中で見事、優勝に輝いたのは犬山支部の小川国雄さんでした。2位は僅差で津島支部の河野幸徳さんでした。



次の開催時にはゴルフの上手い下手にかかわらず、親睦を深めるためにも尾張連合のみに限らず多数の参加者をお待ちしております。

猪飼 (津島支部) ▶ 前列左から2人目が優勝の小川さん

7月各支部の動き

中村支部 17日 定例会
・職人展について、他 10名

昭和支部 8日 常会
・秋の研修旅行について、他 12名

瑞穂支部 1日 定例会 18名

熱田・南支部	19日 定例会 ・秋の親睦旅行について	7名
緑支部	7日 総会	5名
尾張板金連合会	6日 ゴルフコンペ (名四カントリー)	11名
春日井支部	10日 定例会 ・納涼バーベキュー及び連合会ボーリング大会について	11名
津島支部	5日 定例会 11日 ゴルフコンペ (優勝 鈴木昭冬)	7名 9名
小牧支部	18日 立浪部屋ちゃんこ 29日 支部会 ・県板報告、他	6名
岡崎支部	12日 役員会 ・支部行事について、他	28名
碧南支部	18日 青年部定例会 22日 太子講及び安全勉強会	22名
刈谷支部	5日 三役会 14日 刈谷ホームニュースの新聞に支部の広告掲載	
西尾支部	13日 役員会 ・集団検診について、他	10名
知立支部	16日 定例会 ・産業廃棄物について	4名
知多支部	27日 献血活動 (武豊町保健センター)	
東三支部	9日 県板委員、支部三役会 (レストラン芳賀)	10名 7名
瑞穂支部	30日 三役会	

編集後記

私が所属する碧南支部の太子講について久し振りに記事(同号3ページ)を書いた。今回は安全についての勉強会も合せて開いたからである。また、7月は行事が少なく記事不足が予想された為もある。

このところ労働安全の講習会が各ブロックで開催されたが受講者は少ない。今後は支部の会合等に合せて行えば大勢が受講「勉強」出来るのではないか。そんな思いも込めて記事にした。

この太子講の懇親会で改めて感じたことがある。それは『出席者が若い』という事だ。私自身が年を取ったせいだけでなく、数人の二世が親父の代わりに出て来ている。彼ら全員が現役の青年部員である。さらに組合員本人であり青年部員でもある者や最近青年部を卒業した者を合せるとほぼ半数である。

隣席の10歳年上の先輩が言った、「わしも婿さんを出させるつもりだったけどPTAの役と重なってな」と。世代交代が着実に進んでいる。頼もしいかぎりである。

高橋

七月二十六日(木) 晴れ
四二九号 編集会議
広報委員 六名出席
午後二時半開会 五時閉会